

第25回 教育サロン・保護者コミュニティ「おひさまの会」の報告 「絵本作家からのメッセージ」

講師：絵本作家 佐々木孝先生

日時：平成25年9月28日（土）2：00～4：00

会場：横浜市立本町小学校

講師の佐々木先生からご著書の「ヒラベッタイ・ザウルス うまれるよ?!」を読み聞かせていただいた時は、参加者は全員大人でしたが、何とも言えない心地良さに浸り、優しい気分を満たされました。

絵本ってなんて不思議な力を持っているの?を感じたひとときでした。後段の参加者の感想を読んでもらうと皆さんの思いがよく伝わってくると思います。

また、

「子どもは好奇心が旺盛」「子どもはファンタジーの世界をもっている」「ゆれるコスモスと話しができる」「絵本は家族団らんのためにもある、子どものためだけではない」「知ることでなく感じていく事が大事」「大人の言葉で子どもは夢を持つことができる」「『ヒラベッタイ・・・』ができるまでのいきさつ」等、絵本の魅力や子どものもつ世界、子育てのヒント等たっぷりとお話をさせていただきました。

佐々木先生ありがとうございました。



講師：佐々木 孝先生



講師の著書

参加者の感想

○講演会に参加させていただきありがとうございました。

今回講演会に参加させていただくにあたり「ヒラベッタイ・ザウルスうまれるよ」を書店で購入して読み、どんなことをお話しされるのか楽しみにしておりました。講師の佐々木先生からたくさんの学びをいただき、感謝です。

学校全体が一つとなって子どもたちに希望と夢を与えたお話しをお聞きし、また、そのことを佐々木先生が楽しそうに語られる様子を拝見し、とても素晴らしいと思いました。特に子どもからの手紙には感動いたしました。

本や図鑑に載っているのを見て知ることは知識に過ぎませんが、新しい発見はわくわくドキドキする体験、もしかしたら、その発見したことが本や図鑑に載るのでは？・・・との夢まで与えてくれます。

子どもの何気ない一言や子どものひとつひとつの行動は大切にしていかななくてはと思いました。

「見たことのない世界に美しい物がたくさんある」

おとなはすぐに否定してしまいがちですが、子どもの気持ちに寄り添うことの大切さを改めて思わせていただきました。大きくなるにつれだんだん現実的になってきて、自分のなりたいものにしても「夢」のあるものから「現実的」に変わってしまいます。子どもにとって夢、ファンタジーな世界は素晴らしいことです。大切にしていきたいと思います。

私達の住んでいる世界の喜び、感激、神秘などを子どもと一緒に再発見し、感動を分かち合ってくれるおとなが少なくても一人、そばにいる必要があると言われます。どのような出会いがあるかによって人生が左右されると思います。こどもにはもちろん、出会いを大切にいい出会いになれるようにと思っています。

答えは一つではない。子どもの中に持っている物を引き出していく・・・わかっていてもなかなか余裕のない自分に気づかせていただきました。

「言葉が動く」という事に興味深く聞かせていただきました。

○佐々木先生は校長先生でもあり子どもとのエピソードから生まれた絵本を書かれたということで、とても興味深くお話しをうかがいました。

子どもに好奇心を持たせ明日が大好きだと思えるように導くなど一つ一つの言葉に心を育てる大切さを教えていただきました。

実際には見えないとしてもお互いを思いやり生まれたファンタジーはみんなを幸せ

にするのだと感じました。

「恐竜の卵」を本当だと信じる小さい子、もしかして嘘かもしれないと感じながらも信じたいちょっと大きい子、嘘だろうと思っただけでも周りで一生懸命動く大人のために黙って見守る子、ファンタジーの世界を真面目に作りあげる大人を含め全員が幸せな日々を過ごし、素敵な思い出を得たのだと思うと羨ましく思いました。

肩書きにこだわらず、ご自身が楽しみながらいろいろな活動をしていらっしゃる佐々木先生。お話を聞いているだけで笑みがこぼれ幸せをいただきました。第二弾として、またお話をうかがえればと思いました。

○今日は楽しいお話をうかがうことができました。

こどもたちに夢を与えファンタジーな世界に誘う絵本の魅力は素晴らしいものだと改めて感じました。活字離れしているといわれる今のこどもたちには是非もっと本（絵本）を読んで想像力豊かな子になって欲しいと思いました。

○「絵本作家」としての目線と現場に長く携われた「教育者」としてのご経験が裏打ちされた、あのファンタジーあふれる絵本の完成につながったことがよくわかる講演でした。

日々の子育てにも改めて気づかされることが多いよい講演でした。また、参加したいです。

○小さい頃、昔話以外の絵本を読んでもらったことも読んだ記憶もないためか作者の意図することが理解できず、いつも娘に解説してもらっていました。そんな私でも夢、ファンタジー、メルヘンなど絵本の世界に触れたくて参加させていただきました。

お話しの途中、配布していただいた葉や葉書の「HEKOTARN」のキャラクターが気に入りあれこれ考えてしまいました。どんな意図で作られたのか、質問コーナーで手を挙げる勇気がなくうかがうことができなかつたことが心残りです。

○佐々木先生にご著書の絵本を読んでいただき、何ともいえず心地よい気分になりました。絵本の力です。

これからもたくさん絵本を子どもと一緒に読み、こどもといろいろな話しをしていきたいです。

次回のおひさまの会は講演会・テーマ「トータル人間 トータルチーム トータル選手の育成と目指した日本一」です。

詳しいことはホームページをご覧ください。

ご参加をお待ちしています。



記録；佐藤